

令和6年

第7回仙北市議会定例会

市 政 報 告

仙 北 市

令和6年第7回仙北市議会定例会 市政報告

令和6年第7回仙北市議会定例会の開会にあたり、主要事項についてご報告します。

はじめに、行財政改革についてです。

令和7年度の「攻めの方針」として、「観光産業並びに情報産業の活性化による若年層の雇用促進」、「徹底した子育て支援」、「全市民が健康を実感できる仕組みづくり」の3つの柱を掲げました。また、「守りの方針」として、「公共施設等の中長期的な視点に基づくスクラップアンドビルド」、「DX を活用した行政サービスの向上」、「市民の多様なニーズに対応できる人材確保」の3つの柱を定めています。

加えて、田沢湖・角館両市立病院の経営健全化が極めて重要な課題であります。改善を進めるために、さらに患者に寄り添った信頼関係の構築を推進してまいります。

これらの方針に基づき、令和7年度に取り組むべき課題をまとめた部局経営方針シートを作成中です。シートは完成次第、タブレットに掲載いたします。

令和7年度予算編成については、事務事業評価及び施策評価の結果と、部局経営方針シートに基づいて進めてまいります。

また、第2次仙北市総合計画改訂版に基づき、3年間で実施する事業をとりまとめた実施計画をタブレットに掲載しておりますので、ご確認いただきますようお願いいたします。

次に、仙北市人口動態についてです。

10月31日現在の人口は2万2,959人で前年同月比602人減、世帯数は1万285世帯で前年同月比66世帯減となっております。今年度10月までの出生届出数は42人となっております。前年同時期の出生届出数は44人で、2人減という状況です。また、10月の転入は18人、転出は24人となっております。

引き続き子育て支援や若者関連施策の取組について、積極的な情報提供に努めます。

次に、一般会計補正予算(第8号及び第9号)についてです。

第8号の補正額は、15 億 8,872 万1千円の追加で、補正後の額は 234 億 7,221 万円です。補正事業は、議員報酬等、職員給与費、ふるさと納税ふるさと便仙北市魅力発信事業費などです。議員報酬、職員給与費等は、期末手当、勤勉手当の支給基準日が 12 月1日であること、ふるさと納税ふるさと便仙北市魅力発信事業費は、寄附金の受付や返礼品などの経費の支払いに支障を来すことがないよう、定例会初日の議決をお願いするものです。

第9号の補正額は、1億 7,205 万3千円の追加で、補正後の額は 236 億 4,426 万3千円です。主な事業は、障害者自立支援給付費、児童手当給付費、生活保護費、秋田大学医学部創立 50 周年記念事業寄附金、リトリート推進事業費、一般教育振興総務費、農業用施設災害復旧事業費などです。債務負担行為補正は追加及び変更、地方債補正は変更です。

次に、令和7年度の財政見通しについてです。

国の令和7年度予算は、経済財政運営と改革の基本方針 2024において、持続可能な成長の実現に向けた経済構造の強化を進め、日本経済を成長型の新たなステージへ移行させていくため、「豊かさを実感できる所得増加及び賃上げ定着」、「地方創生及び地域における社会課題への対応」、「幸せを実感できる^{ほうせつしゃかい}包摂社会の実現」などに取り組むとともに、改革推進のための証拠に基づく政策立案(EBPM)を強化し、効果的・効率的な支出(ワイズスペンディング)を徹底することとしています。

また、総務省の令和7年度の概算要求では、社会保障関係費や人件費等の増加が見込まれる中で、地方の安定的な財政運営に必要な一般財源総額は、実質的に同水準を確保するとされています。

本市の財政状況を見ると、歳入面では、前年度と同様に国の経済活動が緩やかに回復しているとはいうものの、人口減少や実質的地方交付税の減少により増収を見込むことが難しい状況にあります。歳出面では、高齢者人口割合の増加に伴う社会保障費や長期化する物価高騰、老朽化した施設への対応に伴う経常経費の増加のほか、国が進める所得増加と賃上げの推進も人件費、繰出金の増加につながり、厳しい財政運営となることが想定されます。

予算編成に当たっては、市税等各種収入金の収納率向上、遊休資産の処分、ふるさと納税寄附金の確保など、財源確保に全力を尽くすほか、効果的・効率的な支出の徹底を目標として、これまで以上に既存事業の廃止、統合、縮減などによる歳出抑制に取り組み、一定水準以上の財政調整基金残高を確保し、市が抱える人口減少や少子高齢化などの課題への対応と合わせ、将来に持続可能な仙北市の実現に努める姿をお示します。

それでは、各部局の主要事項及び諸般の状況を報告します。

【総務部】

◇白岩小学校の利活用について

10月22日、地域の各団体の代表と3回目となる白岩小学校利活用意見交換会を開催しました。最終回となる意見交換会では、これまで地域の方から寄せられた意見や要望を踏まえ、コミュニティセンターとして活用し、地域交流の拠点の場とする案を示しております。子どもから高齢者まで幅広い世代が集い、賑わいを創出できる施設を目指してまいります。

関係条例の改正議案を本定例会に提案しておりますのでご審議の程よろしく申し上げます。

◇地域連携研究所大会について

11月22日、地域連携研究所大会が石川県加賀市で開催され、

おいまつひろゆき

老松博行大仙市長とともに初参加しました。同研究所は、地域交流をテーマに観光交流プロジェクトとしての「北前船寄港地フォーラム」の関係団体として活動しており、当日は、横山^{よこやましんいち}信一財務副大臣、萩川^{はらいかわ}直也^{なおや}観光庁長官等が出席しました。

仙北市からは観光や特徴的な取組であるグリーンツーリズムについて発表を行いました。各団体からの活動報告もあり、今後の地域交流のあり方を模索する機会となりました。

【企画部】

◇ふるさと納税について

米の確保が難航し、一時的に苦戦を強いられていたふるさと納税ですが、11月25日現在、寄附金額で1億1,610万円増の16億7,900万円、対前年同日比107.4％に達し、昨年を上回るペースまで回復しました。

12月には年間の約4割の寄附が集中することが見込まれており、引き続き多くの方々からご支援いただけるよう努めてまいります。

◇仙北市空き家対策ガイドブックについて

仙北市と株式会社サイネックスとの官民協働事業により、「2024年 保存版仙北市空き家対策ガイドブック」が完成しました。

各庁舎・出張所の窓口等に設置しているほか、市ホームページに掲出しており、空き家対策に活用していただきたいと考えています。

本ガイドブックの作成にあたり、市内及び大仙市内の28事業者から広告協賛を賜りました。この場をお借りして御礼を申し上げます。

◇秋田新幹線新仙岩トンネル整備促進期成同盟会要望活動について

11月20日、21日、今年度2回目となる要望活動を会長の老松博^{おいまつひろ}行^{ゆき}大仙市長ほか関係者とともに行いました。国土交通省、財務省のほか、関係する国会議員等へ要望してきました。

引き続き、新仙岩トンネル整備の早期実現に向けて強力に取り組んでまいります。

◇おしごと体験キッズマルシェについて

11月24日、角館交流センターを会場に、おしごと体験キッズマルシェが市内在住の女性たちを中心とした実行委員会の主催で行われました。

昨年度から始まったこのイベントは、この地域にはどのような仕事があって、どのような人が活躍しているのか、実際に仕事を体験しながら「仕事って楽しい！」の気持ちを、市内の子どもたちに育もうという主旨で行われているものです。今年度は24の体験ブースを設け、さまざまな仕事を子どもたちが体験し、市長のお仕事体験コーナーでも114人の子どもたちと名刺交換をしたほか、癒しブースやキッチンカーなども併せて展開し、600人あまりの市民などが参加しました。

【観光文化スポーツ部】

◇タイのトップセールスについて

11月13日から16日まで、佐竹敬久^{さたけのりひさ}秋田県知事や県内の各首長、経済団体とともにタイトップセールスに参加しました。旅行会社等へのPRセミナーや秋田タイ王国友好協会の10周年記念式典に出席しました。また、仙北市タイ現地事務所機能を活かし JNTO（日本政府観光局）バンコク事務所や旅行会社に訪問するなど仙北市独自の活動も行いました。今後のインバウンド誘客拡大につながるものと期待しております。

◇田沢湖案内看板の寄贈について

11月18日、国際ロータリー第2540地区（秋田県）の地区大会が大仙市で開催され、佐藤和志^{さとうかずし}ガバナーから仙北市に対して、アルパこまくさ地内へ田沢湖の案内看板をご寄贈いただきました。心より感謝申し上げます。多くの観光客の皆様に新たな撮影スポットとしてご活用

いただきたいと思います。

【農林商工部】

◇米の作柄状況等について

11月19日公表の農林水産統計による令和6年産^{すいとう}水稻^{さつきようしすう}の作況指数は、県南で103の「やや良」となり、一等米比率は、去年は53.8%でしたが、今年は9月末時点で92%となっています。作柄が悪かった昨年からするとよい数値ではありますが、実際に収穫を終えた地域の生産者からは、公表されている数値ほどの収量は出ていないとの声も聞こえており、検証が待たれるところです。

また、米の買取価格が大きく引き上げとなったことについては、高騰する生産コストに収入ができるだけ追いつくことで、生産者の意欲向上につながるものと期待されます。

【建設部】

◇国道整備促進期成同盟会及び砂防事業促進期成同盟会について

国道46号「高規格道路」盛岡秋田道路及び大曲鷹巣道路の整備促進期成同盟会による要望活動を、10月11日に秋田河川国道事務所と秋田県、10月29日に岩手河川国道事務所、11月19日に東北地方整備局、20日に財務省、国土交通省、内閣官房国土強靱化推進室と地元選出国會議員へ行いました。

盛岡秋田道路は「生保内～卒田間」の早期計画策定、大曲鷹巣道路は「大覚野峠防災」の整備促進を主な要望としました。

また、八幡平山系に係る直轄砂防事業促進期成同盟会では、道路事業と同日に東北地方整備局、財務省、国土交通省、内閣官房国土強靱化推進室、地元選出国會議員へ砂防事業の促進について要望してきました。

11月26日には安全・安心の道づくりを求める全国大会に参加し、県選出国會議員等へ要望活動を行いました。

各期成同盟会の会長として、今後も強力に要望活動をしてまいります。

すので、議員の皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

【医療局】

◇病院アートの展示について

11月19日から平福記念美術館との連携により田沢湖病院では、地元出身者の絵画など10点を病院内に展示し、来院者の皆様に心の癒しを提供する取組を始めました。

芸術鑑賞などアートを取り入れることは、患者の不安やストレスを軽減する効果があるとされており、今後もこのような取組を通じて、より市民に愛される病院を目指してまいります。

以上、主要事項及び諸般の報告を申し上げます。本定例会に提案している案件は、条例関係7件、予算関係13件、その他1件の計21件です。

慎重審議の上、ご可決を賜りますようお願い申し上げ、市政報告とします。